

請願書
意見書

「少人数学級推進」、「義務教育費国庫負担制度拡充」にかかわる意見書の提出を求める請願書

採択

【請願事項】

一、少人数学級を推進すること。当面、小学校2年生以上の35人以下学級を早期に実現すること。

二、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。

【請願者】

福岡県教職員組合朝倉支部

支部長 石川 洋介

【紹介議員】

田中 哲也

子どもたちの基礎学力の向上と、きめ細かな指導の充実を図り、併せて教育の機会均等と教育水準の維持向上を図る観点から、全員一致により採択され、同趣旨の意見書を国に提出しました。

意見書

原子力発電所及び原子力関係施設の安全確保等を求める意見書

可決

今回の原発事故を踏まえ

福岡県市議会議長会及び九州市議会議長会でも全会一致で決議され、各市議会にも賛同を求めるとともに国に対する意見書の提出を呼びかけているところであります。

本市議会といたしまして、原発事故等に対する防災対策を進め、市民の安全安心を守るためには、一つでも多くの自治体から国に対して声をあげていくことが重要であると考え、全員異議なく原案のとおり可決し、意見書を国に提出しました。

議会運営委員会

行政視察報告

「議会運営と議会改革の現状と取り組み」

平成23年7月11日～12日

・宮崎県都城市

・鹿児島県霧島市

都城市では、平成22年6月に議会改革特別委員会を設置し、「政務調査費（朝倉市では支給していません）の見直し」と、「公の施設の指定管理者における市議会議員の兼業禁止に関する条例」の制定を行い、今後「市民との意見交換」等を織り込んだ議会基本条例と、政治倫理規程の制定について調査研究することです。

霧島市では、平成21年10月に議会基本条例を制定し、

- ①議会及び議員の活動原則、
- ②市民と議会との関係、③議会と行政との関係、④議員間の自由討議の保障、⑤議員の政治倫理、身分及び

待遇等を定めることにより、二元代表制のもと、合議制の機関である議会の役割を果たし、地方分権時代にふさわしい議会を実現することに努めてあります。

また、その中で①一般質問の「一問一答方式」の導入。②本会議等へ出席した市長等は議長等の許可により、議員からの質疑・質問に対して反問できる。③市民への議会報告会の実施を採用されてきました。

両市とも積極的に議会改革に取り組んでおり、朝倉市においても任意設置している「議会活性化検討委員会」を中心に議会や議員の活動のあり方、あるべき姿や市民、執行部との関わり方などを確立し、議会の機能向上を図り、市民に開かれた議会運営及び議会活性化に努めることの重要性を痛感した視察でした。

議会傍聴においでください

傍聴される方は、本庁4階議場前に備え付けの受付票を記入の上ご入場ください。傍聴席の定員は63人です。本会議及び予算・決算審査特別委員会は、本庁1階ロビー、朝倉・杷木支所1階ロビーでテレビ放映をしています。また、インターネットでもご覧になれます。



次回の定例会は

9/1 (木)

開会予定です

編集後記

二元代表制において、市長と議会は対等だが、役割や特性が異なる。そして、その両者が競い合いながら最良の意思決定を導いていく共通の使命を持つ。そのうえで、議会は決定に至る過程でいかに論点を出し合い議論を尽くせるか、討論の場・情報の広場として機能することが重要である」と北海学園大学の神原勝教授は主張しています。

この議会だよりを通して、市民の代表である議会の活動が、市民にわかりやすく、開かれたものとなるように、広報の充実と議会傍聴促進に、これからも取り組んでいきます。

広報委員会

- 委員長 田中 哲也
- 副委員長 中島 秀樹
- 委員 稲富 一實
- 委員 堀尾 俊浩
- 委員 半田 雄三
- 委員 鹿毛 哲也